

2019年3月12日

新型 Audi A6 Sedan /Audi A6 Avant を発売

- 最新テクノロジーの導入により、セグメントにおける新基準を確立
- 48V 駆動マイルドハイブリッドシステムに高効率な新世代 quattro の組み合わせ
- 高い安全性と快適性を実現するアダプティブドライブアシスト
- 良好な取回しと高速安定性を両立するダイナミック オールホイールステアリング (4 輪操舵)
- 導入を記念し「Audi A6 55 TFSI quattro debut package」を設定

アウディ ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：フィリップ ノアック）は、1968年の初代より50年以上にわたって大きな成功を収めてきたアッパーミドルセダンの8代目となる新型 Audi A6 Sedan および新型 Audi A6 Avant を発表し、3月20日より、全国のアウディ正規ディーラー（126店舗、現時点）を通じて発売いたします。

エレガントな造形を特徴とする Audi A6 は、デジタル化、快適性、スポーツ性の面で多彩な装備を誇るプレミアムクラスのニューモデルであり、同セグメントに数多くの革新的な機能を導入します。導入時に用意される V6 3.0 TFSI は 48V 駆動マイルドハイブリッド (MHEV) テクノロジーを採用し、高い回生効率による省燃費効果と、スムーズな動作のアイドルストップシステムが特徴です。サスペンションでは、アウディらしい正確でレスポンスな操舵感と滑らかな乗り心地の両立に注力しており、四輪操舵システムの助力を得て高い走行安定性も備えています。インフォテイメントを司る MMI タッチレスポンスは、スマートフォンのような直感的な操作が可能で、コネクティビティ及びアシスタンスシステムと併せて、Audi A6 の幅広いデジタル化を印象付けています。

エクステリアデザイン：テクニカルでエレガント

新型 Audi A6 は、新しいアウディのデザイン言語を体現しています。張り詰めたボディ表面、シャープなエッジ、そして印象的なラインなどにより、このアッパーミドルセダンの造形は、スポーティでエレガント、ハイテクで洗練されたキャラクターを明確に表現しています。エクステリアのハイライトは、長いボンネットとロングホイールベース、短いオーバーハングがもたらす、非常にバランスの取れたプロポーションです。低くワイドなシングルフレームグリル、フラットなヘッドライト、パワフルな造形のエアインレットが、スポーティな雰囲気演出しています。サイドビューでは、3本の印象的なラインが、車高を実際よりも低く見せる効果を生み出しています。ホイール上のパワフルな膨らみ（クワトロ プリスター）は、このクルマがアウディ quattro の遺伝子を受け継ぐクルマであることを示しています。Audi A6 は、ドイツ ネッカーズルム工場生産されます。

ライティングデザイン：生命を吹き込むテクノロジー

ライティングデザインは、新型 Audi A6 の技術的な特徴を強調しています。ヘッドライトには、2種類のバージョンを用意。上位バージョンである HD マトリクス LED ヘッドライトでは、5本の水平ラインがデイトタイムランニングライトのシグネチャーを形成し、フロントエンドの幅広さを強調しています。その上部には、瞳のように見えるロービームモジュールが組み込まれています。LED リヤコンビネーションライトは、1本の水平ラインと9つの短いラインから構成され、その棧の間にはブレーキライトが巧みに組み込まれています。HD マトリクス LED ヘッドライト装着車両には、リヤにもダイナミックインジケーターが装備されます。ドアを開錠または施錠すると、カミングホーム及びリーピングホーム機能によってライトが脈動するように点滅し、アウディの特徴であるデザインとテクノロジーに生命を吹き

込みます。インテリアには、アンビエントライティングとマルチカラーアンビエントライティングの2種類が設定されています。ともに、室内のスペースや素材を、控えめかつエレガントに浮かび上がらせます。

インテリア：未来的なデザイン

ブラックパネルデザインを採用した新型 Audi A6 のインテリアは、クルマに秘められたテクノロジーとデジタル化の雰囲気や巧みに演出しています。流れるような造形のインストルメントパネルと、左右に連続した水平のラインが、広々とした感覚を作り出しています。Audi A6 のセンターコンソールには MMI タッチレスポンスの大型ディスプレイが、ドライバーに向くような角度で設置されています。ブラックパネルにアルミニウムのトリムを用いたこのディスプレイは、イグニッションを OFF にすると、まるでディスプレイが存在しないかのように見えます。

マイルドハイブリッド (MHEV)：すべてのエンジンに電動化技術

新型 Audi A6 に搭載される 3.0ℓV 型 6 気筒 TFSI エンジンには、アウディの新しい MHEV テクノロジーが組み込まれています。最高出力は 250kW (340hp)、最大トルクは 500Nm であり、0~100km/h 加速を 5.1 秒 (欧州発表値) でこなし、最高速度は 250km/h (電子制御リミッター作動) の性能を持っています。48V 駆動の MHEV システムは主に、ベルト駆動式オルタネータースターター (BAS) とリチウムイオン電池から構成されています。コースティングファンクション (惰性走行) は 55~160km/h の間で可能で、スタート/ストップ機能は 22km/h 以下に落ちると作動。エンジン停止からの再スタートは BAS によって行われるため、極めてスムーズです。減速時には BAS が最大 12kW のエネルギーを回生し、MHEV テクノロジーによる燃費改善効果は、100km 走行あたり最大 0.7ℓ です (欧州仕様参考値)。

トランスミッションは 7 速 S トロニックを使用し、駆動方式には quattro を組み合わせています。Audi A6 の quattro は前輪駆動状態をベースとして、状況に応じて後輪への駆動配分をアクティブに予測制御することができる高効率な新世代 quattro システムであり、前輪のみを駆動している場合は、プロペラシャフト以後をクラッチによって切り離し、シャフトを回転させるためのエネルギーロスを削減します。252ps/370Nm の 2.0ℓ 直列 4 気筒 TFSI や、207ps/400Nm の 2.0ℓ 直列 4 気筒 TDI を搭載するモデルは、今後ラインナップに加わる予定です。

サスペンション：スポーツカーの俊敏さ、コンパクトモデルの小回り性能

新型 Audi A6 は、先代モデルよりもさらにスポーティなハンドリングを備えています。これは特に、革新的なシャシー設計によるものです。標準でもスポーティなプログレッシブステアリングの設定は、ステアリングを切るにつれてさらにダイレクトなレシオに変化します。シャシーの振動吸収も入念に設計しており、いたずらに振動を消し去るのではなく、路面からの明確で繊細なフィードバックをドライバーに伝達します。Audi A6 は、市街地では良好な取り回し性を、ワインディングロードでは俊敏な走りを、高速道路では優れた直進安定性を提供します。ダイナミック オールステアリングホイール (4 輪操舵) は、これらの相反する性能を実現するためのキーコンポーネントであり、おおよそ 60km/h 以下の低速域では逆位相に最大 5 度、60km/h 以上では最大 1.5 度を後輪をステアします。このシステムは、ダイレクトなフィール、スポーティなステアリングレスポンス、そして優れた安定性のすべてを備えています。

高度なドライバーアシスタンスシステム

より快適、平穏で安全なドライブを実現するため、機能が洗練され新しくなったドライバーアシスタンスシステムを備えた新型 Audi A6 はプレミアムクラスに新たな基準を設定します。走行車線を維持するためにステアリング操作に穏やかに介入するアクティブレーンアシストやトラフィックジャムアシストを含むアダプティブドライブアシストを始め、見通しの悪い交差点などで動作するフロントクロストラフィックアシストや、全方位からの事故について予防し、被害軽減を図るプレセンス 360 が装備されます。

また、将来的にはパーキングスペースへの駐車及び退出操作を自動的に行う、パーキングパイロットとガレージパイロットが追加される予定です（導入時期未定）。ドライバーはクルマから降りた状態でスマートフォンの myAudi アプリを介し、機能をスタートさせることができますが、駐車完了まで責任を持って監視する必要があります。

アッパーミドルクラスに、より広いキャビン

新型 Audi A6 の室内には、リラックスした雰囲気が満ちています。この要素に貢献しているのが先進的なエアロダイナミクスです。セダンで0.24の空気抵抗係数（欧州仕様値。一部モデル）と洗練された音響性能により、高速走行中でさえ心地よく静かな室内を実現しています。Audi A6 の室内は、先代モデルよりも拡大されています。リヤシートのレッグルームは先代モデルを上回り、かつセグメント随一でもあります。フロント及びリヤシートのヘッドルーム及びショルダールームも、先代モデルより広がっています。

新型 Audi A6 Avant では、ダイナミックなデザインと、優れた実用性や多用途性が見事に融合しています。そのスポーティなボディラインにもかかわらず、先代モデルと同様、広大なラゲッジコンパートメントを備えています。荷室の積載幅は1,050mmで、容量はリヤシートを起こした標準状態で565ℓ、リヤシートのバックレストを倒しての最大容量は1,680ℓに達します。「Avant（アバント）」という語は、アウディ ブランドが提供する魅力的なステーションワゴンの象徴となっています。Audi A6 Avant にも、その特徴は受け継がれました。シャープなライン、伸びやかなサーフェス、縦方向に絞ったリヤウィンドーを備えたエクステリアデザインは、アウディ ブランドの新しいデザイン言語を反映しており、長いボンネットと緩やかに流れるルーフラインにより、エレガントかつスポーティで洗練されたデザインを表現しています。

MMI タッチレスポンス：直感的な操作とカスタマイズが可能

新型 Audi A6 の MMI タッチレスポンスは、直感的な操作とパーソナライゼーションにおいて新たな基準を打ち立てます。アイコンを好みに合わせて移動させたり、頻繁に使用する機能のショートカットを作成したりするなど、乗員の好みの設定を簡単かつ素早く呼び出すことができます。最大7人のドライバーが、最大400ものパラメーターを設定して、自分のユーザープロフィールをクルマに記憶させることが可能です。

触覚（ハプティック）及び音響（クリック音）によるフィードバックを備えた MMI タッチレスポンスは、直感的な操作を提供します。タッチパネルのアイコンを指で押すと、ユーザーは作出されたクリック感やクリック音によって物理的なボタンに似た実感を得ることができます。MMI タッチレスポンスは上下2画面から成り、アッパーディスプレイはインフォテインメントシステム用で、ローワーディスプレイは空調コントロールやテキスト入力などに使用します。

Audi A6 は、優れた安全性、利便性、パーソナライゼーションを実現するために、広範囲なコネクティビティを提供します。MMI ナビゲーションプラスは日本仕様では標準装備されます。最上位のデータ転送モジュールは、新しい LTE-Advanced（LTE アドバンスド）に対応しています。

期間限定車「Audi A6 55 TFSI quattro debut package」

新型 A6 の価格は、Audi A6 55 TFSI quattro S line で1006万円（税込）ですが、導入を記念した期間限定車として、装備バランスを検討し価格を920万円としたのが Audi A6 55 TFSI quattro debut package です。デザイン面で大きな印象を与える S line エクステリアと20インチホイール、LED ヘッドライト、標準シート（パーシャルレザー）を装備し、さらに標準車ではオプションとなっているフロントクロストラフィックアシストはパッケージに含めるなど、アピアランスとセーフティのバランスの良いパッケージとなっています。

車両本体価格

モデル	エンジン	トランスミッション	駆動方式	ステアリング	車両本体価格 (税込)
Audi A6 Sedan 55 TFSI quattro S line	3ℓV型6気筒 DOHC 直噴ターボ 340ps/500Nm	7速 Sトロニック	quattro	右	10,060,000円
Audi A6 Sedan 55 TFSI quattro debut package	3ℓV型6気筒 DOHC 直噴ターボ 340ps/500Nm	7速 Sトロニック	quattro	右	9,200,000円
Audi A6 Avant 55 TFSI quattro S line	3ℓV型6気筒 DOHC 直噴ターボ 340ps/500Nm	7速 Sトロニック	quattro	右	10,410,000円
Audi A6 Avant 55 TFSI quattro debut package	3ℓV型6気筒 DOHC 直噴ターボ 340ps/500Nm	7速 Sトロニック	quattro	右	9,550,000円